

2022年

287号

4月20日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

屋外での活動を重視して 「春の仲間づくり月間」を成功させよう！

新型コロナウイルスが発生してから3年、越谷市では現在も毎日200人前後の感染が続いています。

専門家も終わりが見えないといっています。

支部では執行委員会を2回に分けて行なったり、駅頭宣伝も、室内の集会・行事も中止、「お花見会&誕生会」も中止になる状態です。

サークル活動も同様です。そこで支部は屋外での活動を重視することにしました。

ウォーキング、グラウンドゴルフと「レクリエーション大会&誕生会」です。

屋外でのレクリエーション大会は①グラウンドゴルフ②ウォーキング③お茶べり会の3つに分けて同時に行う。

昼食会・誕生会も後半に行う。これを年4回行い延べ120余名参加で成功しています。前回は折り紙教室を③に加えて5名が参加しました。

1年間で15名の仲間が組合に加入しましたが、死亡や、高齢で施設等に入所したり、自粛が長期に渡り、サークル活動ができないうえ、24名が退会しています。

県では仲間づくりの目標を高く掲げ、1万人達成を目指しています。

支部でも300名を目指し、当面この月間で12名の目標を目指して全力をつくします。役員はその先頭に立っています。

ます。さらに組合員皆さんの協力で目標を達成しましょう。仲間を増やしてコロナを打ち負かそう。支部長 吉田健治

満開の桜を満喫

「春のレクリエーション大会&誕生会」

全体での花見はできなかったもののウォーキングを選んだ方は満開の桜を満喫。

2年前まで毎年北越谷の元荒川土手で実施していた春の「お花見&誕生会」は昨年に引き続きコロナのため「春のレクリエーション大会&誕生会」として、南越谷グラウンドで行いました。

3月29日(火)この日は花曇りで寒い日でしたが世の中は桜が満開。10時45分に体を暖めるため全員でラジオ体操。その後3つのレクリエーションに分かれました。今回は1時間を1時間半に伸ばしました。

ウォーキング

満開の「桜」にウットリしながら、葛西用水遊歩道、江古田用水遊歩道の「桜」と草花の美しさをスマホでパチリ。11時に出発、11名の参加者は流通センター市場に11時20分到着。前回に続きシャッターアートを見学(一般の人も見学していました)。綺麗な歩道や草花は地元のボランティア(知人)の毎日



の活動に感謝し、お礼しながら楽しめました。「コブシ」「モクレン」と問答しながら休憩の12時25分到着。全員5kmを完歩しました。初参加の宮田さんも元気でした。(吉田健治)

折り紙教室



今回は、市松模様のコースター(両面利用できるもの)と簡易BOXでテーブルの上のゴミ箱や小物入れにもなる便利BOXです。きれいな色折り紙は今回も講師の市東さんから用意していただきました。2回折ることで覚えることも出来、楽しかったとの感想がありました。(森山久子)

グラウンドゴルフ



参加は7名。いつもどグラウンドゴルフのメンバースト山博さんと澤田久子さんが参加しました。(次ページへ続く)

点 睛

今こそ消費税を ゼロにする時

4月に入り原油高や円安の影響で、食料品・生活必需品・公共料金(電気、ガス等)が10〜20%の値上げをしており、一方で公的年金の0.4%引き下げで、国民生活がますます圧迫されています。

岸田内閣は経団連に対し、賃金の引き上げ要請をしたようですが、公的年金を引き下げ、公務員の一時金を引き下げたのでは、国民の実質賃金を引き下げているのと同じで、賃上げ要請は形だけのパフォーマンスでは無いでしょうか。ここにきて選挙対策なのか、年金受給者に5千円支給という場当たり政策を打ち出し、国民・野党から総スカン、慌てて取り下げる自公政権の政策立案能力の無能さ。

コロナ対策でも同様に泥縄対策しか対応できず、未だに検査態勢を拡充しないため、見なし陽性者(検査なしでも医師の判断で感染者とみなす)を感染者数に計上する始末です。今の物価はオイルショック当時の値上がり匹敵していると思います。当時は公共料金値上げ反対デモが全国で行われ、春闘では3万円近くの賃上げを実現しました。

今年の春闘で、満額回答のトヨタ自動車でも、定昇込みで4%で1万円にも届きません。ロシアの侵略戦争による物価に対する影響は、夏から秋に出てくると言われており、このままでは食べるものも食べられない家庭が多数出かねません。今こそ消費税を、理想的にはゼロにして国民全体の生活を支援するのが、国の責務ではないでしょうか。

税収不足は、コロナ禍でも内部留保を約毎年20数兆円貯め込んでいる大企業から徴収すれば、死に金が減り国内消費が増加し、日本の経済を発展させることができるのではないのでしょうか。(和田 幸雄)

5月1日(日)第62回地区メーデー (サンシティ小ホール)

9:30〜に参加しよう！

ロシアは侵略をやめろ！

年金の切り下げは許さないぞ！